

令和4年度
小規模多機能型居宅介護 やよいの里
サービス評価
《提出用》

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30 ~ 17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画
全スタッフと情報共有が図れるよう、伝達する担当(リーダー)を決め、伝達を密に行う。新規の利用者さんとの関わりには、困りごとをまず受け止め、双方向の関係性を築くために、もう少し時間をかけて関わることができるよう、業務の調整等を適宜おこなっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
スタッフ間で情報共有しながら支援を行っているが、日常の業務に追われてしまい、時間をかけた関わり方ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	6			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・本人の情報やニーズなど利用開始前に、ミーティング等を通じて共有できている。利用日当日には、朝の申し送りで情報共有し、利用者が不安にならないような対応をするように心掛けている。 ・新規の利用者には、訪問や通い時に、声掛けや気遣いを行い、信頼される関係作りに努めている。距離感にも注意を払っている。 ・通い時の様子や日常の様子を、写真や動画撮影をおこなって、家族にみていただいている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・事前の話し合い等が不十分なままで利用となってしまう、情報が共有できていない場合がある。 ・職員間の考えを話し合う時間が少なく、深く掘り下げた内容には至っていないことがある。 ・初期のかかわり段階では、本人、家族が支援の内容を理解されていない場合がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・継続して、ミーティング時の話し合いや、申し送りや気づきノートを活用し、情報共有をおこなっていく。 ・利用者の状態や変化について、家族との情報交換を密におこなっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30 ~ 17:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画

個々のケアプランについて、アセスメントをもとに具体的な目標設定をおこなう。全職員が、ケアプランの内容を職員が認識できるようにし、本人の「～したい」に結びつくような利用者が発する言葉や行動などを、気づきノートを活用して情報共有し、次の対応、支援に生かせるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

「～したい」に結び付くように向き合っているが、聞き取ったり引き出すための関わりが不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		5	2		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	1		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	2		7
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	1		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々の申し送りや気づきノートを活用し、本人の希望や思いなどを記録に残すようにし情報共有に努めている。
- ・定期的にケア会議を実施し、必要に応じ家族や医療機関、多職種に意見を求めながら支援方法を検討している。
- ・職員がモニタリングに関わり、ケアプランや支援について意識して考えることができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・個別計画を作成し目標設定をしているが、具体的ではない場合がある。
- ・定期的なケア会議とモニタリングにてサービス内容についての評価はできているが、本人の「～したい」という思いに対して、本人の満足度や達成感にズレがないかの評価ができていない。
- ・職員間の価値観の違いから、利用者大切にしていることへの支援が統一できないことがある。
- ・コロナ禍での行動制限もあり、希望を受け入れることができていることもない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・ケア会議では、日々の支援の見直しは引き続きおこなっていくが、短期目標の達成度や、サービス内容の見直しも内容に組み入れ、利用者の望む支援に向けて評価をおこない、実行に結び付けられるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30～17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画
アセスメントや日々の関わりの中での本人の望む暮らしに結びつく訴え等を、日々のミーティングや気づきノートを活用し、情報共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
話し合いの機会は増えており、ケアマネへの報告・相談を密に行い、全職員で情報共有し、支援内容も都度都度、話し合い意見を出し合っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	5		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	4			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	3		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		7			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・サービス時に利用者の変化に注意し、都度ミーティングにて共有、実践している。 ・本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度情報共有できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・アセスメント不足から「以前の暮らし方」の情報不足がある。 ・利用者の本心や声にならない声を、くみ取り支援ができていない。 ・職員のとらえ方の違いで、ケアの統一ができていないことがある。 ・日常生活動作で必要以上に支援を行ってしまい、自立支援を妨げていることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・個々の利用者にあったコミュニケーションをとるよう心がけ、変化に気づいたときには、情報共有をおこない、利用者の本心や声にならない声を少しでもくみ取ることができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30 ~ 17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	1人	人	7人

前回の改善計画
利用者を取り巻く環境の把握に努め、情報共有を密に行う。浮かび上がった課題等を会議で共有・検討を行い、必要に応じて関係機関に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域や家族・知人との関わりが継続できるように支援している。特に新規の利用者さんを取り巻く環境を把握できるよう情報収集に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	1		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6			7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	2		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	3		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・訪問の際など、職員から地域の方に関わり情報を得たり、会話の中で地域との関係性が良好に保たれているか、課題がないかを適時確認を行っている。
 ・コロナ禍のため、地域との関わりは少なくなっているが、大雪の際の協力を民生委員の方に相談できたケースもあった。
 ・家族への相談や、連絡、報告は些細なことでもおこなうようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・介入を拒む利用者の支援が、なかなかつなげられない。
 ・全利用者の暮らし方や、夜間の過ごし方や、本人の地域での役割や生きがい把握できない部分もある。
 ・地域の民生委員や地域の資源を十分に把握できていない。
 ・通いサービスの内容がマンネリ化となり、変化に乏しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・引き続き、送迎、訪問時など職員から地域の方に関わり、情報を得て、共有をしていく。
 ・地域との関係性が保たれている利用者に関しては、関係が切れないように、サービス内容に組み込んでいき、統一した支援ができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30～17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画	一般職員も事業所連絡会等に参加し、行政や地域資源等の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の理解や活用には至っていない部分がある。自分たちだけでサービスをおこなうことなく、地域のサービスを導入できるよう対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	1		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		6	1		7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	6			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・本人を支える地域資源(買物に行けない方への移動販売車や生協の配達、配食弁当の利用、灯油やガスの販売店、NPO草むしり等)を活用している。 ・本人の要望や状況に応じ、適宜「通い」「訪問」を提供している。 ・日々の変化は都度ケース記録に入力しており、ミーティングにて情報共有すると共に対応を確認している。 ・体調不良や緊急時など、適宜病院受診したり、「通い」→「訪問」に変更している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ニーズがない状況ではあるが「宿泊」の対応ができていなかった。 ・利用者それぞれの地域とのつながりが把握できていないために地域の資源を活用しきれていない。 ・コロナ禍の影響で、地域資源との接触を控える傾向もあり、対応が難しい場面もあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ニーズに応じた柔軟な対応ができるようにしていく。 ・利用者それぞれの地域とのつながりを把握できるようにし、地域資源の理解を深め活用につなげていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30～17:30)

6. 連携・協働

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画	事業所としておこなっていることを全職員周知し、有事の際の潤滑な避難・連携が図れるよう取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	非常災害対策計画の策定には至っていない。事業所が求められている役割の周知も不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	3	2	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	3	2	7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	4	2	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	3	3	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・適宜、医療機関、訪問看護や福祉用具等と連絡を取りながら、情報収集・共有ができています。 ・自治体や地域包括支援センター主催のオンライン勉強会に参加できています。 ・自治会の清掃活動には参加できた。 ・コロナ禍であり、直接地域の住民との交流はできなかったが、オンラインにて参加ができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・コロナ禍ということもあり、地域の行事に参加したり、事業所から地域に出向くことができなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・少しずつ、コロナ前の状況に戻るよう、感染対策を行いながら、地域の行事や活動に参加ができるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30 ~ 17:30)

7. 運営

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画	運営推進会議での内容や、利用者や家族、地域からの要望等を職員に周知し、職員全員が地域の困り事に気づき一緒に考え、地域に開かれた運営ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族の要望をできる限り受け止め、より良い支援になるよう検討し、支援につなげている。地域に根付いた活動は、コロナ禍のため、あまり行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	2	4		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	1		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	1		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		3	4		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・苦情・要望等についてミーティングなどで情報共有し、検討及び対応行っている。また第三者委員会に報告し、指助言頂いている。 ・送迎時や電話やメール等での連絡で、家族との関わりを大切にして、関係作りに努めた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・昨年に引き続き、コロナ禍の状況の中で、十分に地域に目を向けた支援ができなかった。 ・事業所内のみの話し合いとなってしまう。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・利用者や家族からの要望については、誠実に向きあい、サービスの質の向上につなげていく。 ・運営推進会議での情報は職員全体で共有し、地域での困りごとにも目を向けることができるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30～17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	短時間勤務の職員にも研修の機会を設け、スキルアップにつなげていく。 気づきノートを活用し、ヒヤリや気付きを申し送りしやすい環境づくりをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	気づきノートの活用で、申し送りしやすい環境づくりができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	5	1		7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	3	1	7
③	地域連絡会に参加していますか		2	3	2	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 施設内研修は全て時間内に開催することで、より知識を得られる機会となった。全員が出席できるよう2～3回開催している。 施設外研修においては、オンライン研修などの頻度も増え、可能な限り参加することができた。 包括支援センターの事業所連絡会や事例検討に参加している。 気づきノートを作成し、日々のヒヤリや些細な気付きを書とめ職員で共有し、危険予測の対応が行えた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 施設外研修の機会が増えたが、スタッフによっては勤務時間や家庭の都合により研修に参加出来ないこともある。 リスクマネジメントについて、特に看護面で、トラブルが起きてからどこがダメだったかを考えることがみられた。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 個人のスキルアップのための研修会への参加や定期的な勉強会(実技や具体的な事例を用いた実践的な勉強会)を実施し、質の向上を図る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月28日(16:30～17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 高山、糸山、杉岡、上伏
西山、熊井、高島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	人	人	7人

前回の改善計画
継続し、利用者のプライバシーや尊厳が守れるよう努めると共に、自分達の立ち振る舞い等を常に振り返る機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
虐待に繋がらないよう日々職員同士注意し合っており、定期的な研修を開催している。職員間の情報共有時など利用者の耳に入らないよう声の大きさや会話の場所等に配慮行っている。知らず知らずに配慮が欠ける場合もあり、都度スタッフ間で確認を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1			7
②	虐待は行われていない	6	1			7
③	プライバシーが守られている	5	1	1		7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	4			7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	3			7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・定期的な研修を開催し、個人の尊厳を守る支援をおこなっている。
・職員間で気がついたときやミーティング時に注意しあっている。
・必要に応じて、行政と連携し、成年後見制度等、必要な制度につなぐことができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間の情報共有時など、職員同士の会話の場所が適切でなかったり、プライバシーの配慮に欠けてしまうことがある。
・スピーチロックについて、本人が気づかぬうちに、声掛けなどで利用者の行動を制限してしまっている場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・職員同士、注意しあえる環境を作り、定期的な研修で「不適切ケア」がないか、職員間で点検をおこなっていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 弥生福祉会	代表者	小川 弥仁	法人・ 事業所 の特徴	福井市郊外の住宅地に立地し、同じ建物内には居宅介護支援事業所、通所介護事業所を併設しています。また隣接する同法人運営の特別養護老人ホームやグループホームとの協力体制が整っています。住み慣れた街（自宅）で暮らし続けたいという願いに寄り添い、個別の事情に合わせて柔軟に「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを組み合わせ、ひとり一人の暮らしを365日、24時間支援しています。地域との関わりを大切にし、祭りや清掃活動、防災訓練といった法人イベント及び地域のイベントを通じ交流を深めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 やよいの里	管理者	高山 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 全スタッフと情報共有が図れるよう、伝達する担当（リーダー）を決め、伝達を密に行う。特に新規の利用者さんとの関わりには、時間をかけて関わるができるよう、業務の調整等を適宜おこなっていく。 日々のミーティングや気づきノートの活用で、本人の「～したい」に結びつくような利用者が発する言葉や行動などを、情報共有したり、ヒヤリや気づきを共有できるようにしていく。 短時間勤務の職員にも研修の機会を設け、スキルアップにつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ間で情報共有しながら支援を行っているが、日常の業務に追われてしまい、時間をかけた関わり方ができていなかった。 「～したい」に結び付くように向き合っているが、聞き取りたり引き出すための関わりが不十分だった。 話し合いの機会は増えており、ケアマネへの報告・相談を密に行い、全職員で情報共有し、支援内容も都度都度、話し合い意見を出し合っている。 	サービスに入るとき、本人の生活や生きてきたストーリーなども理解したうえで必要な支援をおこなうことが大切です。職員で情報共有することをリーダー中心に行っていることがよくわかります。	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの機会を作り、情報共有は行っていくが、対利用者、対職員に対してのコミュニケーションの取り方を常に意識していく。 ケア会議では、日々の支援の見直しは引き続きおこなっていくが、短期目標の達成度や、サービス内容の見直しも内容に組み入れ、利用者の望む支援に向けて評価をおこない、実行に結び付けられるようにしていく。 個人のスキルアップのための研修会への参加や定期的な勉強会（実技や具体的な事例を用いた実践的な勉強会）を実施し、質の向上を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	室温等の管理や環境整備に努め、利用者が快適に過ごして頂ける環境を整える。	空調による温度管理や加湿器による加湿など取り組んでいる。感染予防に努め、明るく、清潔感ある環境となるよう、事業所内の管理に努めている。	コロナ禍の中で、難しい点もあると思いますが、日々努力されていると思います。ZOOMでの参加のため見えてこないところもあります。	室温等の管理や環境整備に努め、利用者が快適に過ごして頂ける環境を整える。感染予防にもなお一層、注意を払っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>一般職員も事業所連絡会等に参加し、行政や地域資源等の理解を深める。</p>	<p>地域資源の理解や活用には至っていない部分がある。自分たちだけでサービスをおこなうことなく、地域のサービスを導入できるよう対応している。</p>	<p>感染対策で地域の行事やイベント等開催できていない現状です。少しずつ緩和に向けて動いてきているので、参加することで地域で楽しんでほしいと思います。地域の中で、特養やデイサービスも併設のため、頼りにされている存在です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者それぞれの地域とのつながりを把握できるようにし、地域資源の理解を深め活用につなげていく。 ・少しずつ、コロナ前の状況に戻れるよう、感染対策を行いながら、地域の行事や活動に参加ができるようにしていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者を取り巻く環境の把握に努め、情報共有を密に行う。浮かび上がった課題等を会議で共有・検討を行い、必要に応じて関係機関に繋げていく。</p>	<p>地域や家族・知人との関わりが継続できるように支援している。特に新規の利用者さんを取り巻く環境を把握できるよう情報収集に努めた。</p>	<p>コロナ禍においても出来ることは行われていると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、送迎、訪問時など職員から地域の方に関わり、情報を得て、共有をしていく。 ・地域との関係性が保たれている利用者に関しては、関係が切れないように、サービス内容に組み込んでいき、統一した支援ができるようにしていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議での内容や、利用者や家族、地域からの要望等を職員に周知し、職員全員が地域の困り事に気づき一緒に考え、地域に開かれた運営ができるようにしていく。</p>	<p>利用者や家族の要望をできる限り受け止め、より良い支援になるよう検討し、支援につなげている。地域に根付いた活動は、コロナ禍のため、あまり行えていなかった。</p>	<p>第三者の立場の人々の意見を聴取することは重要と考えます。今後も継続し一緒に考えていきたいと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族からの要望については、誠実に向きあい、サービスの質の向上につなげていく。 ・運営推進会議での情報は職員全体で共有し、地域での困りごとにも目を向けることができるようにしていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>有事の際の潤滑な避難・連携が図れるよう取組みを行う。</p>	<p>苑内の避難訓練を実施。地域の方に福祉避難所と認知していただくためには、コロナ禍でも何らかの取組みができるとよかった。</p>	<p>定期的な訓練実施と、防災など、地域とのかかわりのある活動などについて、包括支援センターも協力して取り組んでいきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有事の際の潤滑な避難・連携が図れるよう取組みを行う。 ・福祉避難所として役割を職員全体で共有する。

